

お雛様手芸 活動の流れ

【事前準備】

- (1) 会場の大きさに合わせて席を作る。口の字型にテーブルをセッティングすると、中でボランティアが動きやすい（足の悪い方用に脚長机と椅子のグループもあると良い）
- (2) お雛様手芸のキット、針やボンド、グルーガン、できあがり見本などをテーブルに準備する。
- (3) 参加者さんが来られたら席へ誘導する。数人集まったら活動を始める。
- (4) ボランティア全員が指導に入るが、1名は全体を見て適宜指示できるようにしておく。

導入（はじめに説明） 5分程度

- ・できあがり見本を見せながら「手芸でお雛様をつくりましょう」等伝える。
- ・1人1キットが渡っているか、キットの内容に不備がないか声をかける。

毛氈（もうせん）：下に敷く赤布、着物用布2枚、綿2ヶ、黒フェルト3ヶ、頭パーツ2ヶ、ペレット、扇・笏（しゃく）、紐2本

- ・子どもさんが針やハサミ、グルーガンなどでけがをしないよう注意！
- ・まとめ役、タイムキーパー、参加者のサポートなど、分担しておこなう。

体験 60分程度

- ・参加者それぞれが作るペースが違うので、ボランティア1人につき2～4人の指導をするイメージで。
- ・参加者さんが作り方をわからないまま過ごしてしまわないよう、心配りしてください。
- ・早くできた方は、他の人の指導に入ってもらおう。
- ・針の紛失には十分気を付ける事（針を置くときは針山へ！！）

お茶っこ&共有

- ・完成された方には、お茶っこをお誘いし、机の上を片付ける。
- ・希望される方には、出来上がった作品とご本人との写真をチェキで撮ってプレゼントする。
- ・コーヒー、お茶などを出しながら、参加者さん同士が作品を見せ合いっこできる雰囲気づくりを。
- ・最後にみんなと一緒に集合写真を撮るなど、記念に残る様に。
（嫌がる方には無理強いはいしない）

終わりに 5分程度

- ・「また色々な手芸に挑戦してみてください」「三人官女や五人囃子も作成すればひな飾りができますよ」など声をかける。
- ・収納箱と一緒に持って帰っていただきます。
- ・余分にキットが欲しいと言われたら、次の活動場所でも使うので…等とやんわりと断る（数量に余裕があればお渡ししてもいいが）

遅れて来られた方へ

後から来られた方へは、左記の流れをベースに個別に対応してください。できるだけ作る事を楽しんでいただきますよう。（完成させる事に執着しないようにしましょう）

【後片付け・撤収】※来た時よりもきれいにして帰るイメージで！

- ・ テーブル、いす、座布団の片付け
- ・ 借りたものは返し、移動させたものは元の場所に戻す
- ・ 掃除機をかける
- ・ ゴミは持ち帰る
- ・ 忘れ物がないか確認する